

英語教育実践論(6)

教材研究 Do's and Don'ts

南 村 俊 夫

「読み」の教材研究(2)

Do's and Don'ts 65

文中に使われた too, so, enough などは前後から内容を補って考えよ。例えば, He can't run. He is too old. の文では too の意味は「(年をとり) 過ぎている」の意味であるが, 何をするのに「(年をとり) 過ぎている」のは前の文で示され, 「走るには年をとり過ぎている」という内容を分かるように解釈していかなければならない。単に「ひどく年寄りだ」とするだけでは十分ではない。

[指導]

At a party.

Man A: Does anyone support the President's tax-cut program?

Man B: Well, I oppose it. I think it will cause too many problems.

(Functions)

T: この対話文を見て下さい。Bの後半の文を訳してみましょう。S1 君。

S1: 「多くの問題を引き起こすと思う」となります。

T: Good. では too many problems とありますが, too の意味はどうでしょうか。
S2 さん。

S2: 「～しすぎる」です。

T: OK. では, He is too old to run. という文を考えてみましょう。内容は分かりますね。S3 君。

S3: 「ひどく年をとっていて走れない」です。

T: Right. つまり, 「走るには年をとり過ぎている」という意味です。では問題文の I think it will cause too many problems. の後に too old to run の場合と同様に続けるとしたら, どのような内容が英語で続けられますか。S4 さん。

S4: I think it will cause too many problems to support the President's tax-cut program. ではないでしょうか。

T: Very good. ではその文を訳してみして下さい。

S4: 「大統領の減税案は支持するには問題を引き起こし過ぎると思います」とな

ります。

T: その通りです。この対和文の下線部 too では単に「非常に（多くの問題）」と訳すだけではなく、「（支持するには）多すぎるほどの問題を引き起こす」のように（支持するには）を入れて訳す必要があります。それが very と違う too の意味なのです。同じことが so や enough でも言えます。同じような例をあげてみましょう。

- (1) He couldn't speak. He was so angry. (OALD)
- (2) He can go to school. He is old enough.

この2つの文の so, enough の内容を具体的に解釈していく必要があるのです。so 「それほど」、enough 「それに十分な（に）」などの語が文中に表れた場合は「どれほど」か、「どれに十分な（に）」かを具体的に前後から考えて訳さなくてはならないのです。

Do's and Don'ts 66

文中の定冠詞 the は単に「その」とだけ訳すのではなく、「どの」かをはっきりさせなくてはならない場合がある。

The RoboCup is an international project. Some Japanese scientists thought of the idea. They started an international robot soccer competition in 1997.

(Vivid English Course I)

この文の下線部の the は「その（考え）」の意味であるが、「その」とは「どの」かを考える必要がある。3つの文を訳してみよう。「ロボカップは世界的なプロジェクトである。日本の科学者達はそのアイデアを思いついた。彼らは1997年国際ロボット・サッカー競技会をスタートした。」この文中で、「そのアイデア」と訳して分からなくはないが、「その」を「そのロボカップのアイデアを」のように訳していくことで全体がより一層理解し易くなるはずである。このように the を単に「その」と訳すのではなく、具体的に「どの」なのかをはっきりさせる訳をさせる必要がある。

[指導]

In December 2004, there was a big earthquake off Sumatra in Indonesia, and big tsunamis hit some countries around the Indian Ocean. Over 200,000 people were killed. Matsui gave ¥50,000,000 to help people in the area.

(Vivid English Course I)

T: この文を見て下さい。文中の下線部、最後の文にありますね。「その地域」とはこのことでしょうか。S1 君。

S1: 「インド洋に沿ったいくつかの国」です。

T: Good. ではその文を訳してみてください。S2 さん。

S2: 「松井はインド洋に沿った国々の人々を助けるため、5千万円を寄付した」です。

T: OK. 「松井はその地域の人々を助けるため、5千万円を寄付した」と訳してもいいのですが、「その地域」の代わりに S2 さんのような訳のほうが the の意味がはっきり分かります。定冠詞の the にはいろいろな意味がありますが、「その」となった場合は「どの」かを具体的に訳すといでしょう。

Do's and Don'ts 67

語には2つの文を繋ぐ働きをするものがある。それを訳す場合は、その語だけの訳ではなく、2つの文の繋がりが分かるように訳せ。

People must live with physically challenged people from childhood. Then they won't think of them as strange. という文の下線部の語を考えてみよう。この語の意味は「そうすれば」という意味である。「どうすれば」かは前の文を見ればよい。前の文は「人々は子供の時から障害のある人と一緒に生活をしないではいけない」という意味である。これをうけて then「そうすれば」と続くのを「一緒に暮らせば」のように前の文を受けて訳していくと、意味がより具体的になるはずである。この下線部のような語を discourse markers と呼ぶ。その他には moreover, similarly, so, thus, however, but などの語がある。

[指導]

After graduating from college, she worked for a company for some time. But she really wanted to do something more creative than ordinary office work. So she wrote to Shimizu Shunji, a leading subtitle translator at that time, and asked him, "Would you teach me subtitle translation?"

(Vivid English Course I)

T: 最初の下線部 but を見て下さい。「しかし」という意味ですね。では「何だがしかし」なのか考えてみてください。S1 君。

S1: 「彼女は大学卒業後しばらくの間ある会社につとめたが、しかし」となります。

T: Good. では But 以下の文の ordinary office work と同じ内容と思われるものを最初の文から選んでみてください。S2 さん。

S2: worked for a company つまり「会社勤め」です。

T: OK. では、この文を訳してみてください。S3 君。

S3: 「彼女は卒業後、しばらく会社勤めをしていたが、その会社勤めよりもっと

創造的なことをしたいと真に願っていた」です。

T: Very good. 次の下線部を見て下さい。So she wrote... は「そこで彼女は書いた」となっています。「そこで」とは具体的にはどういうことを指していますか。S4 さん。

S4: 前の文です。まえの文の「創造的なことをしたいと願っていたので」となります。

T: その通りです。このように、前の文あるいはその一部の内容を受けていく語を訳す場合はできるだけ具体的に訳していくことを心がけて下さい。

Do's and Don'ts 68

句にも文と文を繋ぐ働きをするものがある。それを訳す場合は、その句だけの訳ではなく、語の場合と同様2つの文の繋がりが分かるように訳せ。

“Interesting lecture?” “On the contrary, it was a complete waste of time” という文の下線部を考えてみよう。on the contrary は日本語では「そうではなくて、その逆に」の意味である。「そうではなくて」が「どうではなくて」なのかは、前の文「面白い講義だったかい？」から考えて「面白いどころか、全く時間の無駄だったよ。」と訳していかなければならない。このように句の中にも前の文と後の文とを繋ぐ働きをしているものがある。この類の中には、on the other hand, at any rate, in addition, for example, as a result などがあり、これらも Do's and Don'ts 67 の場合と同様 discourse markers と呼ばれているのである。

[指導]

Mr. Johnson is a farmer. At the age of 65, he works sixteen hours a day, but he does not mind hard work. He eats three good meals a day and he sleeps well. As a result, he is still strong and healthy.

(Vivid Reading)

T: 下線部 as a result を見て下さい。どういう意味でしょうか。S1 君。

S1: 「その結果」という意味です。

T: 「その結果」とは「どの結果でしょうか」 S2 さん。

S2: 前の He eats three good meals a day and he sleeps well. の結果です。

T: OK. では、この文を訳してみてください。S3 君。

S3: 「彼は3度の食事をちゃんと食べ、十分な睡眠をとっている結果」です。

T: Very good. では He eats three good meals a day and he sleeps well. と前の文との関係がわかりますか。S4 さん。

S4: 前の文の理由です。まえの文の「彼は1日16時間も働くが、きつい仕事を苦

にしない。というのは」と続いていくのではありませんか。

T：その通りです。as a result は直接的には前の文を受けたものですが，そのもう一つ前も間接的には受けている，と言ってもいいでしょう。